

《Japan Tariff Association》

関 税 メールプレス

(No. 775) 2025. 7. 22 発行元：日本関税協会 長崎支部

TEL:095-825-0557

Fax:095-825-1748

<https://www.kanzei.or.jp/nagasaki/>



2025 年 6 月及び上半期の貿易概況〔速報〕



(資料提供：長崎税関)

2025 年 6 月

全国の貿易概況

2025年6月分の貿易額は、輸出は自動車、鉄鋼等が減少し、9兆1,626億円と対前年同月比▲0.5%の減少（2ヵ月連続の減少）となった。

また、輸入は医薬品、通信機等が増加し、9兆95億円と対前年同月比+0.2%の増加（3ヵ月ぶりの増加）となった。

その結果、差引額は1,531億円の黒字（3ヵ月ぶりの黒字）となった。

長崎税関管内の貿易概況

＜ 輸出:2ヵ月連続のプラス ＞

金属製品、金属鉱及びくずなどが減少したものの、船舶類、ゴム製品などが増加したことにより、2ヵ月連続のプラス

416億91百万円(前年同月比+6.4%)

＜ 輸入:5ヵ月連続のマイナス ＞

飼料、パルプ及び古紙などが増加したものの、鉱物性燃料、穀物及び同調製品などが減少したことにより、5ヵ月連続のマイナス

1,689億77百万円(前年同月比▲25.8%)

2025 年上半期

全国の貿易概況

2025年上半期分の貿易額は、輸出は半導体等製造装置、自動車等が増加し、53兆3,622億円と対前年同期比+3.6%の増加（9期連続の増加）となった。

また、輸入は医薬品、通信機等が増加し、55兆5,780億円と対前年同期比+1.3%の増加（3期連続の増加）となった。

その結果、差引額は▲2兆2,158億円の赤字（8期連続の赤字）となった。

長崎税関管内の貿易概況

＜ 輸出：3期連続のプラス ＞

金属製品、鉄鋼などが減少したものの、船舶類、ゴム製品などが増加したことにより、3期連続のプラス

2,506億06百万円(前年同期比+14.4%)

＜ 輸入：2期ぶりのマイナス＞

パルプ及び古紙、金属鉱及びくずなどが増加したものの、鉱物性燃料、飼料などが減少したことにより、2期ぶりのマイナス

1兆1,955億00百万円(前年同期比▲9.6%)

◎長崎税関管内港別貿易額[2025年6月及び上半期]

※前年同月(期)比10%以上の増減があったものは青字(増加)、赤字(減少)で表示(単位:百万円)

区 分	輸 出				輸 入			
	6 月 分	前年同月比	2025 年上半期	前年同期比	6 月 分	前年同月比	2025 年上半期	前年同期比
管内合計	41,691	106.4%	250,606	114.4%	168,977	74.2%	1,195,500	90.4%
長 崎	10,168	126.8%	27,350	49.8%	1,831	42.2%	18,013	74.4%
長崎空港	—	—	—	全減	82	94.4%	383	116.0%
佐世保	17,733	3.4倍	97,558	197.4%	12,371	49.3%	108,050	84.3%
三 池	3,822	23.5%	67,876	108.9%	3,748	94.3%	18,382	74.7%
八 代	2,119	92.7%	11,304	91.8%	4,530	59.5%	37,674	94.7%
熊 本	2,358	130.7%	10,392	122.9%	1,542	100.2%	8,510	84.9%
三 角	200	28.2%	1,624	44.8%	—	全減	6,554	40.1%
水 俣	35	94.5%	353	176.6%	1,292	2.1倍	9,422	119.3%
熊本空港	5	4.5倍	48	88.9%	0	全増	1	30.8%
鹿 児 島	138	35.6%	1,030	53.4%	125,856	75.9%	874,863	92.4%
鹿児島空港	15	95.3%	133	141.7%	149	91.5%	2,889	54.6%
志 布 志	3,595	123.4%	21,597	136.8%	15,015	90.9%	95,429	92.8%
川 内	1,498	93.9%	11,274	115.0%	2,285	133.9%	12,189	91.2%
枕 崎	4	30.0%	67	142.9%	275	181.7%	3,141	124.2%

※長崎港には松島港を含む。 ※佐世保港には松浦港及び福島港を含む。 ※鹿児島港には喜入港を含む。